

# 令和5年度 5年1組 ①学期学級経営反省

担任：山下 誠司

1学期も残すところ3週間となりました。子どもたちも新しい学級や友人たちとの関係にもすっかりと慣れ、毎日元気に登校してくれています。保護者の方々の、普段からの声掛けやサポートに感謝いたします。

高学年ということでも求められることも増えたり、大きくなったりしてくるので、今はちょうどその過渡期にあたるのではないかと思います。なかなか高学年を自覚した責任ある言動を育てていくことに苦心していますが、今後も少しでも自分でできたことややり遂げたこと、臆せずに挑んだこと等をしっかりと見逃がさず、励ましたり認めたりしていきたいと思ひます。そして、まずは子どもたち自身が「できるんだ!」「がんばった!」という自信や達成感をつけさせて、一步一步前進させていきたいと思ふところではあります。

## 1. 学習面 【かしこく】

- ① 基本的な学習のしつけの指導、徹底（学習道具の準備、ノート指導）
- ② 宿題プリントやテストの効果的な活用および事後指導
- ③ 音読と読書の推進（教科書や詩の音読の継続、図書貸出冊数100冊、読み聞かせ）
- ④ 自ら調べて取り組む自己学習能力（宅習）の育成



- 友人との関係を生かしながら、自然に教え合い学び合う姿が見られる。
- 家庭学習に継続して取り組み、提出できる児童が増えつつある。（提出率：60～70%）
- 図書時間の設定や担任の読み聞かせを行って、本へ親しむ機会を増やすようにした。
- ▲ 特に算数が難しくなっている。土台となる4年生までの学習事項（九九やくり上がり繰り下がり、わり算の筆算など）について、定期的に点検、復習する必要がある。
- ▲ 自分で調べる、取り組む時間と、友人と学び合う時間のメリハリをつけさせたい。（学び方の習得）
- ▲ 提出物や宿題などの字をもう少し丁寧に書かせたい。

## 2. 生活面 【やさしく】

- ① しつけ3原則の励行（1. 先手のあいさつ 2. 返事 3. 靴・いすの整頓）
- ② 教児同行や観察、情報交換などを通して、多面的な児童理解に努める。
- ③ 行動開始時刻や集合時刻の厳守
- ④ グループ活動を通して、仲間作りおよび規範意識の向上を図る。



- 忘れ物をした児童への対処や、体調不良の児童など困っている友人への速やかな周囲児童の配慮がある。
- 自分の係や担当でなくても、自分から進んで手伝ってくれる児童が見られる。
- 毎週水曜日朝の「ちょボラの日」に、前向きに取り組む児童が増えつつある。
- ▲ 次時の準備とチャイム席がなかなか守れていない児童が多い。
- ▲ そうじや当番など、面倒なことにも責任をもって、前向きに取り組める児童を増やしたい。
- ▲ 友人への言動やちょっかい等からトラブルになることが多かった。

## 3. 保健面 【たくましく】

- ① 体育の学習活動の工夫、授業の中での運動量の確保
- ② 運動遊びや遊具などを用いた日常的な体力づくりの励行
- ③ 危険予知能力に対する指導（廊下歩行や道具の使い方、遊び方）
- ④ うがい、手洗い、換気など基本的な衛生習慣の育成



- 休み時間は校庭で遊んで、意欲的に体を動かすことができている児童が多い。（鬼ごっこ、一輪車等）
- 体育の時間を楽しみにして、友人と競ったり協力したりしながら、意欲的に体を動かす姿が見られる。
- ▲ 「八ツボネブ」が揃っていない児童が多い。（保護者との連携）
- ▲ 給食に時間を要しているため、歯みがきの時間が十分にとれないまま遊びに出ている。
- ▲ 廊下歩行や雨天時の過ごし方など、けがや事故が起きそうな場面がある。

何より、5年1組の子どもたち36人全員が、一人も欠けることなく1学期を終えようとしていることを嬉しく思ひます。これも保護者の方々の御協力と御理解があってこそだと思ひます。

来月からの夏期休業におきましても、頑張ってきた心身をゆっくりとオーバーホールして休ませると同時に、普段はなかなか取れない家族との時間を大切にする機会にさせていただければと思ひます。また、学習についても無理のない範囲で、特に1学期学習したことの復習を中心に少しずつでも毎日継続して取り組ませてください。

新学期、元気な満面の笑顔の子どもたちと再会できることを楽しみにしています。